

Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4



世界へのプレゼントになろう

No.53-22 第2549回 例会2015年12月10日(木)

夜間例会

会長 茂木 正 会長エレクト 中島高夫
副会長 八木茂幸 五十嵐敦子 岡芹正美 幹事 金子 章
2015～16年度国際ロータリー会長 K.R. “ラビ”ラビンドラン
第2570地区ガバナー 高柳育行

進行：SAA 野田貞之

点鐘：18:30 茂木 正 会長

会長の時間

茂木 正 会長



今回は志向を変えて夜間にし、普段の例会の時間になかなか出席しづらい会員さんにも出席して頂きたいと言う思いも込めて夜間に、それも地元本庄高校のOBでもあります、落語家の古今亭志ん丸師匠にお越しいただきました。後程高座を務めて頂きます。

さて先週久し振りに映画を見て参りました。題名は『海難1890』という120年前に和歌山県檜崎沖で台風のため遭難した、トルコの軍艦エルトルール号と100年後の1985年に起きたイランイラク戦争を題材にした日本とトルコの合作映画でした。

私は以前エルトルール号の遭難したという現場に訪ねて行ったことがあり、この映画には興味がありました。

明治時代の和歌山県の寒村、そこで遭難沈没した船に乗っていた600名あまりの乗組員を村人が、自分達の危険を顧みず60名近くの船員を救助したというものです。トルコではこの物語は教科書にも載っているほど、すべてのトルコ人が知っていると言う事です。遭難現場には毎年トルコからの使節が来訪し、地元とトルコとの友好親善都市が締結されているようです。

その遭難事件から約100年後、イランイラク戦争が起こり、現地に残り残された300名の日本人をトルコの航空会社が自国民より優先して日本人を助けるという実話に基づいたストーリーでした。

映画に感動した事は勿論ですが、私はそこに教育の本来有るべき姿を感じました。もし日本

でひどい目にあつたとか、何の支援もしてくれなかったと言う事が教科書にまことしやかに掲載されて子供たちが読んで育つたとしたら、トルコの国民はイランイラク戦争の時にどういった対応を取ったでしょうか。

当然の事ながら自国民を真っ先に非難させて飛行機に乗せたことでしょうか。でも違った！それこそが教育の大切なところですよ。

嘘八百並べ立てて、在りもしない事を捏造して敵対意識をあおるところには未来へ向けての教育はありません。そんな国々への警鐘でもある映画でした。

幹事報告

金子 章 幹事



12月3日分

- 1、ロータリーの友12月号が届いております。
- 2、ガバナー月信12月号が届いております。
- 3、地区より米山奨学会会報ハイライトよねやま届いております
- 4、R希望の風奨学会より『風の便り』9号が届いております。
- 5、秩父RC2500回の記念公開例会の案内が届いております。
- 6、本庄高校同窓会会報「柏陵」の広告協賛の御礼文が届いております。
- 7、地区より当クラブ主幹の地区大会の案内が届いております。
- 8、本日は年次総会です。宜しく願い致します。

卓話

落語話 古今亭志ん丸 様



次回プログラム発表

12月17日(日) 第3例会

10:00~ 視察 (一部役員等)

11:00~ 意見交換会 (同上)

卓話 地区大会 国際ロータリー

会長代理予定者 高野孫左エ門様



広報雑誌委員会 山田喜一・浅香 匡・梅村孝雄・福島正美

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号

〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄

Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ

<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>